

# 宗岡中だより

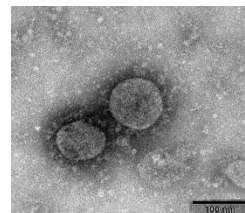


3月号 令和2年2月28日(金)  
志木市上宗岡1-8-1 TEL 048-471-2241

## 「ウィルスの 経路不明で 拡散す」

校長 佐藤哲浩

先月までは、対岸の火事と思っていた新型コロナウイルスによる感染が、日本でも感染が拡散し留まるところを知りません。先週は文科省から、「中国から帰国した児童生徒への対応について」の通知が出され、さらに新型コロナウイルスが学校保健安全法の第1種感染症に指定され、罹患した生徒は完治するまで出席停止になることになりました。厚労省はマスクの着用、手洗い・うがいの励行に努め、「正しく恐れよう」と記者発表していますが、見えないウィルスに立ち向かうのはとにかく不安です。新型コロナウイルスの拡散により、東京マラソンの一般参加中止、地方自治体の催しの中止が相次ぎ、主催者にとっては大きな打撃です。早く終息することを願うばかりです。



話は変わって私事になりますが、先週末、パルムドール賞、アカデミー賞4部門を受賞した映画、「**パラサイト 半地下の家族**」を観てきました。この映画は現在世界中で大ヒットしています。映画を観る前までは、なぜ韓国映画がこれほどまで世界中で絶賛されているのか疑問に思っていたのですが、ブラックユーモアがあり、ラブロマンスがあり、サスペンスがあり、さらには社会問題をリアルに描く場面があり、私自身がどんどん引き込まれていき、「なるほど、これならアカデミー賞を受賞するな」と奥深さを感じた次第です。

物語の舞台は韓国・ソウル、ひなびた半地下の住宅で暮らすキム一家は、事業に何度も失敗している父親のギテク、元ハンマー投げの選手ながらも今は内職に精を出す妻チュンスク、大学入試に失敗し続けている長男ギウ、そして予備校へも通えない美大志望のギジョンの4人家族。誰もが定職がないその日暮らしの一家ですが、ある日、友人の紹介でギウがIT企業の社長パク氏の娘ダへの家庭教師の職を得ます。それに続きギジョンは社長の息子の美術の家庭教師、ギテクは社長の運転手、チュンは社長宅の家政婦の職を得ます。低所得者層の一家と新興富豪層の一家、普段の生活では決して交わることのない二つの階級の家族が会って、物語は思いもかけない方向に転がり始めます。

映画の後半、富豪の社長の家の地下室で、自分よりもっと貧しい生活をしている第3の家族がいることを発見してしまいます。悲しいことに富豪層の家族とではなく、その貧しい家族同士の闘いが始まるのです。第3の家族の男の存在はギテクにとって恐怖になっていきます。未来は自分もあななるかもしれないという可能性を孕んでいるからです。しかし半地下で生活している家族は、自分たちよりさらに下で生活している人間を見つけて、自尊心を満たしていくのです。そして悲惨な結末へ。

この映画のテーマである「貧富の格差」、我々はその中でどう生きるか、この社会問題は日本以上に世界各国が直面している課題であり、パラサイトはその伝え方が絶妙であるため称賛されているのかもしれない。

parasite : 居候、寄生虫、寄生植物